



## ＊保護者の声＊



ちゅーりっぷクラスからお世話になっていますが、本当に素晴らしい幼稚園に出逢えたと思っています。思いやりの心、優しい心がこんなにもしっかり育つのは、シスター方、先生方の穏やかな心と日々の努力、そして子ども達一人一人にきちんと向き合って下さるお陰だと感じています。お友達と一緒に、小さな手を合わせお祈りを捧げる姿はこちらまで心が洗われます。多感な時期をウルストラ幼稚園で過ごさせたことは、我が子にとって大きな自信につながっていくと思います。これからもお心を忘れることなく一日一日を重ねていきたいです。

(在園生の年長女兒のお母様より)

私自身、カトリックの幼稚園でその幼稚園が大好きだったので、子どももカトリック幼稚園に通わせたいと思っていた時に、ウルストラ幼稚園に出会いました。息子と娘を通わせて頂きましたが、モンテッソーリ教育も縦割りも私の子には合っていたようで、何かに集中して取り組めるようになり、年齢関係なく、お友達と遊べるようになりました。心のどこかに神様がおられるのも私はいいなあとと思います。ウルストラ幼稚園に通うことができてよかったです。

(卒園生の兄と年長の女兒のお母様)

自分のことを「大切な存在」と思うことができる…そんな風に子ども達を育てることができたらとずっと思っていました。幼い時期に必要なのは、ありのままの自分を受け入れてもらえること、それがウルストラ幼稚園では自然に実践されているように思えます。

(在園生の年長男児と年少女兒のお母様より)

聖心ウルストラ幼稚園に通いだして早いもので3年目となりました。入園当初は園生活に馴染めるだろうかと不安もありましたが、縦割りということで年長さんにお世話され、遊んでもらうとすぐに馴染むことが出来ました。長男は自分にお兄ちゃんお姉ちゃんが出来た！と喜んでおりました。今年から通っている次男は、家にいるお兄ちゃんと同じように遊べる年長さん達がクラスにいるので、伸び伸びと園生活を満喫しているようです。もともと絵を描くのが好きな長男は幼稚園でモンテッソーリ教育に出会い縫い刺しや糸かけなど、なかなか家ではやらせていなかったことに取り組むのが楽しいようで、幼稚園で製作している作品を見るのが私の楽しみの一つとなりました。蝶結びも幼稚園で覚えましたよ！逆に今まで全く絵を描かなかった次男も、こっちがびっくりするほど絵を上手に描いてくるようになり、母は感激です。毎日のお祈りやシスター達の関わりの中で学ぶものも多く、運動会等いくつもの行事を終えるごとに成長していく姿を見続けてきました。今まさに運動会の練習の真っ最中、お昼からの遊び時間も返上して練習している姿を見て、また一つ大きくなって戻ってくる息子たちが楽しみです。私はこの幼稚園での行事やバザーのお手伝い等に積極的に参加することで、沢山の皆様方と出会うことが出来て良かったと感じていると共に充実した毎日を過ごしています。

(在園生の年長男児と年少男児のお母様より)

家から一番近い幼稚園…という安易な理由から見学させていただいたのですが、娘は一目で気に入り、私も園内を見学し、案内して下さったシスターと話すうちに、ここなら娘を安心して通わせられるな、と感じたのを覚えています。縦割り、ということで年少の時はお兄さんお姉さんと一緒にいられるのが嬉しくってたまらないようでした。そして自分が年長になった時には、自分がしてもらったように、しっかり年少さんのお世話をしあげられるようになっていました。そうして、先生やシスターから沢山の愛を頂き、また沢山の皆様方と触れ合うことで「ありがとう」「ごめんなさい」と素直に言える子になっていました。このような素晴らしい幼稚園に出会えて、本当に良かったです。また、ここでは沢山の行事があります。子ども達は毎日一生懸命練習し、本番では練習の成果を存分に発揮します。行事のたびに子ども達が成長していくのが、はっきりとわかります。それから、幼稚園の手作り給食は、とってもおいしいそうです。「好きな給食のメニューは？」と聞くと「どれもおいしくて一つに決められない！」というほどです。この幼稚園にお世話になって5年目ですが、「ここに来て良かった」という気持ちが年々大きくなっています。

(卒園生の姉と在園年長男児のお母様より)

我が家の幼稚園との出会いは数年前、夕刻時の鐘の音でした。窓辺に立つ私の耳に、何とも言えない心地良い鐘の音がカラ〜ンコロ〜ンと風に乗って届きました。そして数日後、通りがかりに偶然“鐘の鳴る幼稚園”を発見！その時の気持ちは今でも忘れられません。「何だかわからないけど好き」だと。当時一歳半の息子を腕に抱き「この幼稚園に通わせたいな」と。それから数年が経ち、息子の幼稚園選びの年になり、迷うことなく選んだ『聖心ウルストラ幼稚園』その名の通りのカトリック幼稚園。クリスチャンでもない我が家、大丈夫かな？と思いつつ入園。でも実際入園してしまうと何の問題もありませんでした。それどころか、他ではあまり聞いたことのないような貴重な行事に、沢山の皆様方と出会うことができる楽しい毎日でした。幼児期は初めての感情や体験が一杯の大事な時期にあります。そんな時、私達が親として出来る事は、最前の環境を考え守ってあげる事なのではないかと思っています。私達親子はウルストラ幼稚園に通い「子どもと共に学び教わる事への関心を持ち、それによって感心し歓心する気持ちを実感しております。毎日、先生方やシスターの大きな大きな愛情を受けて帰ってくる子どもの姿に、“インスピレーションで選んだこの幼稚園、間違いなかった！！”と確信しております。そして今年には下の娘が卒園の年となりますが、幼稚園で過ごした沢山の楽しく温かい思い出と成長した感謝の気持ちでいっぱいです。

(卒園生の兄と在園年長女兒のお母様より)

